



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

師団創立63周年・千僧駐屯地創設73周年記念行事

飛躍 ～地域とともに信頼と安心を～

各種行事・訓練

師団創立63周年・千僧駐屯地創設73周年記念行事
自衛官候補生課程 ～3か月の軌跡～
福知山音楽フェスティバル2024

第3師団隊員紹介コーナー

近畿の守り人
3Dサイズ
ただ今奮闘中
趣味あり☑
師団戦士
我が部隊の新戦力
一隅を照らす
私の大切なもの

みんなの架け橋

自衛隊大阪地方協力本部

職場のマメ知識

「関西と北海道」



表紙写真：師団創立63周年・千僧駐屯地創設73周年記念行事



地域とともに 約8,000名の来場者を魅了



観閲官
師団長 佐藤陸将

観閲部隊指揮官
副師団長 末田陸将補

観閲行進 観閲官（師団長 佐藤陸将）に敬礼をする観閲部隊指揮官（副師団長 末田陸将補）



部隊入場



観閲官 佐藤陸将



観閲飛行



パフォーマンスをする第3特殊武器防護隊 隊長（橋本2佐）

師団（師団長 佐藤陸将）は、5月19日（日）、千僧駐屯地において、第3師団創立63周年・千僧駐屯地創設73周年記念行事を挙行了した。今年のテーマは「飛躍」で地域とともに信頼と安心を創出した。観閲式において、佐藤陸将は式辞に先立ち「本年元旦に発生した能登半島地震で犠牲になられた方々の冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます」と哀悼の意を表した。続く式辞では、我が国の安全保障環境、また今般の能登半島地震を含む近年の自然災害、南海トラフ地震への備えの必要性を述べるとともに、整列する隊員に対し「隊員諸君は、日々向上心を持って自らの知識・技能を磨き、何時如何なる事態に対しても即動できる力を蓄えてもらいたい」と述べた。最後に佐藤陸将は、来場されたご来賓、地域の皆様へ「今に即動し、将来に備え得る強靱な部隊を育成し、期待に応える」と誓った。観閲式に続き行われた観閲行進において、師団隷下の12個部隊等が威風堂々の行進を披露するとともに、来場者に笑顔で応えた。また今年には戦闘訓練展示を午前・午後の2回実施し、より多くの来場者に観覧いただいた。その他にも装備品展示や、各種アトラクションなど、小雨が降るあいにくの天気となったものの、約8千名の来場者を楽しんでいただいていた。来場された方からは「訓練展示が2回もあったのでじっくり見れてよかった」、「自衛官の皆さんが優しく話しかけてくれて、大人も子供も楽しめました。来年もぜひ来たい」等の感想があり、記念行事は成功裏に幕を閉じた。



「見て！触れて！感じて！笑顔の1日♪」記念行事イベントフォトギャラリー



戦闘訓練展示 16式機動戦闘車による空砲射撃



戦闘訓練展示 普通科部隊による突撃



足湯



自衛隊車両の体験試乗



格闘訓練展示



バルーンアート



制服試着体験



レンジャー体験



【Ryo. N 様】



【ななさん 様】



【暇人 よっし 様】



たくさんのご応募
ありがとうございました！

来年もたくさんのご来場を
お待ちしております！！

本記念行事において、第3師団フォトコンテストを実施した。来場された方々が撮影した約250作品の応募の中から、優秀作品3点選ばれた。今回優秀作品に輝いた3作品の力メラマンに対し、「第3師団オリジナルグッズ」を贈呈した。

「第3師団フォトコンテスト」優秀作品紹介



自衛官候補生課程～3か月の軌跡～



修了式の様子 (第7普通科連隊)



6月下旬、第7普通科連隊(福知山)、第36普通科連隊(伊丹)、第37普通科連隊(信太山)、第3後方支援連隊(千僧)及び第3偵察戦闘大隊(今津)は、約3か月の自衛官候補生課程教育を修了した。

桜の蕾が開花し始めた3月に着隊した彼らは、親元を離れ、慣れない環境のなかを同期と切磋琢磨して約3か月の教育を駆け抜けた。

自衛官候補生たちは教育修了後、2等陸士に任命され、各職種部隊への配置を命ぜられた。彼らの自衛官としての人生がスタートする。



89式小銃分解結合 (第37普通科連隊)



体力検定 (第37普通科連隊)



基本教練 (第7普通科連隊)



※体には無害です

催涙ガス(催涙線香)体験 (第3後方支援連隊)



格闘訓練 (第3偵察戦闘大隊)



戦闘訓練 (第3偵察戦闘大隊)



徒步行進訓練 (第3後方支援連隊)



戦闘訓練 (第36普通科連隊)



歩哨訓練 (第36普通科連隊)



心に響く音楽の力♪自衛隊の魅力をもPR



第3音楽隊長 川良1等陸尉



第3音楽隊と地元高校吹奏楽部とのコラボ演奏



トロンボーンのソロ演奏
野村 陸士長



司会進行を務めた
伊川 陸士長



福知山酒呑鬼太鼓の迫力ある演奏



歌とパフォーマンスのフィナーレ



福知山市イメージキャラクター
ドッコちゃん



オートバイ
装備品展示



記念撮影

師団は、6月30日(日)、福知山厚生会館(京都府福知山市)において、陸上自衛隊第3師団「福知山音楽フェスティバル2024」を開催した。

本演奏会は2部制で、第3音楽隊長(川良1尉)の指揮の下、第1部は、今年の干支「辰」にちなみ「ドラゴンクエスト・メドレー」で盛大に幕を開けた。その後、行進曲「理想の極致」やNHK大河ドラマ「麒麟がくる」のメインテーマなど、力強い演奏を披露した。続いて、第7普通科連隊(京都府福知山市)の福知山酒呑鬼太鼓が登場し、「由良川酒呑流れ打ち」、「四季打ち」、自衛隊音楽まつりでも演奏される「山彦」の3曲を披露し、見事なバチさばきと迫力で観客を圧倒した。

第2部は、映画「オズの魔法使い」より「オーバー・ザ・レインボー」、ジャズナンバー「A列車で行こう」など来場者にも聞きなじみのある曲を演奏。その他、東京デイズニールゾートのエンターテインメント曲「ジャンボリミッキー!」の演奏にあわせて仮装した隊員たちが舞台上でダンスするなど、幅広い客層を魅了した。

フィナーレでは、福知山市内の高校(福知山高等学校・福知山成美高等学校)吹奏楽部とコラボ演奏し、スペシャルゲストに福知山市イメージキャラクター「ドッコちゃん」が登場するなど、奏者と来場者が一帯となり、約1時間半にわたる演奏会は、成功裏に幕を閉じた。

近畿の守り人

伝統と歴史を紡ぐレンジャー教育



第7普通科連隊 日比野2尉



京都府福知山市に所在する福知山駐屯地は「部隊レンジャー」発祥の地とされている。その歴史は昭和35年まで遡り、以来、今日まで連綿とレンジャー隊員を輩出してきた。

そして、今年もまた令和6年度部隊集合教育「レンジャー」が開始される。

今回は、その教育の主任教官を務める第7普通科連隊所属の日比野 優(ひびまさる)2等陸尉に話を聞いた。

日比野2尉は、幹部任官後、第91期幹部特設課程「レンジャー(A)」を令和3年11月に修了し、レンジャー教官として令和4年以来教育に従事してきた。

約3か月間に及ぶレンジャー教育、その過酷な教育の過程で意志が崩れる学生も少なくない。

日比野2尉は、レンジャーに挑戦する学生に対し「目的意識を強く持って欲しい。レンジャー教育はあくまで通過点に過ぎない。自衛官として、自分がどのようになりたいか、その先にある目標を見失わず教育に臨んでもらいたい」と思いを語った。

最後に「この教育に携われることに感謝します。誇りをもって全力で教育にあたります」と話してくれた。

3Dガイズ

「斥候員として」



第3偵察戦闘大隊 偵察中隊 陸士長 幸松 龍馬

第3偵察戦闘大隊偵察中隊に所属する幸松 龍馬(こうまつ たつま)士長へのインタビューです。

入隊の動機は。

A 自衛官である祖父と父の姿に憧れを抱き、入隊を志願しました。

部隊の魅力・やりがいは。

A 切磋琢磨して、任務を遂行できること、第3偵察戦闘大隊の魅力であり、やりがいです。

印象的な経験は。

A 陸士特設課程「偵察」で実施した空路潜入です。実機を使用した降下訓練はなかなかできないため、貴重な経験になりました。

尊敬する人は。

A 同じ駐屯地で勤務している父です。部隊で見る父の偉大さを感じ、1日でも早く父に追いつき、追い越せるよう、努力してまいります。

今後の目標は。

A 今年の3月に結婚し、陸曹教育隊への入校も控えているので、家庭と仕事の両立が目標です。また、偵察警戒車の操縦手として、各種練度を向上させていきたいです。

最後に一言

A 座右の銘である「人間の成長なくして、技術的進歩なし」この言葉を胸に日々精進してまいります。



憧れの父とともに

ただ今奮闘中

「日々精進」



第36普通科連隊 第3中隊 3等陸尉 妹尾 一成

第36普通科連隊第3中隊に所属する妹尾 一成(せのお かずなり)3尉へのインタビューです。

入校年度時期、期別は。

A 一般幹部候補生(部内)として、令和5年3月に入校しました。期別は23Iです。

幹部になったきっかけ(動機)は。

A 幹部自衛官としての勤務を通して、多種多様な勤務を経験したいと感じたからです。

幹部候補生学校での思い出は。

A 幹部自衛官として、必要な資質を涵養させて頂いたと感じています。

現在の業務は。

A 第3中隊の対戦車小隊長として、小隊長を指揮しています。

幹部任官後、苦労したことは。

A 知識不足により、円滑に業務が進まなかったことです。

幹部自衛官としてのやりがいは。

A 小隊長を指揮し、隊員一丸となって任務達成に邁進している時です。

陸曹時代との変化として、物事に對する思考過程が変化したと感じています。

部隊等の隊員に一言

A 若輩者ではありませんが、少しでも皆さんのご期待に応えられるよう、日々精進してまいります。よろしくお願ひいたします。

趣味あい

「夢はバイクで日本一周」



第3飛行隊 3等陸曹 米村 侑也

第3飛行隊に所属する米村 侑也(よねむら ゆうや)3曹の趣味「バイク」を紹介します。

私の趣味は、愛車のバイク(HONDA Rebel250)に乗りツーリングに行くことです。バイクの面白さは、なんといっても風を全身に受けながら走る爽快感ではないでしょうか。

5年前に免許を取得し、昨年春に念願であった現在のバイクを購入しました。時期を同じくして、所属している第3飛行隊でもバイク人口が増え、定期的にツーリングをするようになりました。現在では同じ部隊の仲間だけでなく、駐屯地司令も参加されています。

ツーリングの目的地は、第3師団管内(琵琶湖、六甲山等)がメインですが、将来的には東京方面や四国、九州にも足を伸ばそうと企画中です。将来的には日本一周を夢見ています。

最後に、現在ツーリング仲間を集めながら、バイクのタンデムシートに乗ってクルーザーに乗って募集中です!

仕事とプライベートの両立を図り、職務に邁進します。

募集中です!



ツーリング仲間と(写真一番左が本人)

師 団 戦 士

「成長し続ける
陸曹として」



第3高射特科大隊
本部管理中隊
3等陸曹 佐藤 陸



第3高射特科大隊本部管理中隊に所属する佐藤 陸（さとる）3曹へのインタビューです。

佐藤3曹は、通信小隊に配置され、小隊の若手陸曹として、気力・体力ともに充実し、いま成長真つただ中の隊員です。

陸曹教育隊入校時期、出身は。
A 第142期、令和4年10月入校、大阪府出身です。

【陸曹教育隊入校間について】
A 印象に残っている訓練は、組長として臨んだ総合訓練です。様々な訓練を通じ、自分の成長を感じることができました。

特に苦労したことは。
A 組員への説明が不足しており、認識が合わず、教育全般を通じて部隊指揮の難しさを痛感しました。

入校間で特に学んだことは。
A 指揮するための判断力、決断力、そしてその後の実行の監督が特に重要だと学びました。

陸曹になって心境の変化は。
A できる仕事の幅が増え、より一層やりがいと責任感を感じています。

今後の部隊での目標は。
A 不足している知識・技能を身につけ、部隊に貢献していきたいです。

陸曹を目指す後輩隊員に一言。
A プラス思考でやるべきことを一つ一つ積み重ねていけば結果は必ずと頑張ってください。

我が部隊の新戦力

「忠恕」
ちゅうじょ



第3音楽隊
クラリネット担当
1等陸士 甲本 優太



第3音楽隊に所属するクラリネット奏者、甲本 優太（こうもと ゆうた）1士へのインタビューです。

入隊年度、出身は。
A 令和5年4月入隊、秋田県出身です。

入隊の動機は。
A 自分の好きな音楽を通じて国防に貢献したいと思ったからです。

新隊員教育での思い出は。
A 前期教育において、岩手山演習場で行われた野営訓練です。自然環境下での偽装の重要性を学びました。

現職務のやりがいは。
A 演奏を聴いて下さる方々の喜ぶ顔を見ることです。

尊敬（目標に）している先輩は。
A 同じパートの小林3曹です。部外での個人レッスンや積極的な自主練など、音楽に対し、常に真摯に向き合う姿に感銘を受けています。

今後の目標は。
A 基礎的な技術の向上、音楽への知識を涵養し、自身の演奏スタイルを確立していきたいです。

最後に一言
A 音楽隊は自分の力だけでは成立しません。「忠恕」の言葉のとおり、周囲への思いやりの心をもって、今後も部隊に貢献していきたいと思えます。



演奏をする甲本1士
(福知山音楽フェスティバル2024)

一陽を照らす

「求道者」



第3通信大隊 第2中隊
3等陸曹 秋山 慎太郎



第3通信大隊第2中隊に所属する、秋山 慎太郎（あきやま しんたろう）3曹を紹介します。

秋山3曹は、平成29年に3等陸曹へ昇任し、同年の部隊改編によりネットワーク陸曹として、共用通信小隊に所属しています。現在、通信所の組長として勤務し、師団システム通信の骨幹を担っています。

通信技術は日々進化を続けており、野外通信システムだけではなく、民生品を活用した通信構成など、幅広い知識が求められるなか、秋山3曹は、新しい知識を吸収し、他の隊員へ普及するなど、とても頼もしい存在です。

また、中隊の体育指導者として、令和3年度師団団持走競技会及び令和5年度師団武装走競技会に出場し、第3通信大隊「グループ優勝」に大きく貢献しました。

そんな秋山3曹の趣味は体力練成と筋力トレーニングに励んでいます。

公私ともに努力を続ける秋山3曹の姿は他の隊員の模範であり、ネットワーク陸曹として、また中隊の体育指導者として、益々の活躍を期待しています。



武装走競技会のメンバーと
(写真左上が本人)



第3施設大隊 第2中隊
しもむらじゅんぺい
3等陸曹 下村 純平

私の大切なもの「家族」

私の大切なもの、それは「家族」です。陸上自衛隊に入隊してから出会った「妻」とコウノトリが運んできてくれた「娘」が何よりの宝物です。

これといって趣味のない私ですが、家族と過ごす日々はとても楽しく充実しています。仕事で忙しい日、訓練が辛いときは妻と娘を思い浮かべています。すると、力がどんどん湧き上がってきます。

現在1歳6か月の娘は、まだはっきりとは喋れませんが、保育園で流れている音楽を鼻歌でよく歌っています。その鼻歌をできる限り聞き逃すことのないように、これからも家族との時間を大切にしたいと思います。





自衛隊 大阪地方協力本部

Osaka Provincial Cooperation Office

3曹 梅田孝明



【第3師団での勤務】

第36普通科連隊

【現勤務地】

北東地区隊 豊中募集案内所

【やりがい】

自分の広報活動により興味を持っていた
ただき志願につながった場合にやりがい
を感じます。

【第3師団の皆さんにメッセージ】

隊員自主募集お待ちしております。

3曹 川島伸浩



【第3師団での勤務】

第37普通科連隊

【現勤務地】

北東地区隊 豊中募集案内所

【やりがい】

関わっている様々な方たちにありが
とうと言ってもらった時に感じます。

【第3師団の皆さんにメッセージ】

広報支援という形でいつもお力を貸
して頂き本当にありがとうございます。

2府4県

みんなの架け橋

近畿2府4県に
所在する各自衛
隊地方協力本部
からの情報発信
コーナー

第3師団の皆さん、こんにちは☆
大阪地本のゆるっとキャラクター
『まもるくん』やで！
今年もイベントに引っ張りだこでほんま
ありがたいわあ♪
今回は、大阪の北東地区をメインにバリ
バリ活動してくれてる2人を紹介するで！
引き続き大阪地本と、まもるの応援を、
よろしくやで♪



約2年前、北海道での勤務を
終え、第3師団に赴任しました。
関西圏で生活することになり、
北海道を懐かしく思っていたと
ころ、スーパーや百貨店などで
北海道物産展をよく目にするこ
とがありました。ふと気になっ
て調べてみると、かつて北海道
は、全国の百貨店に道産のものを扱うよう働き
かけをしていました。
1951年6月、高島屋大
阪店にて初の北海道物産展が
開催され、それを機に関西圏
で広がっていき定着していっ
たそうです。
北海道の広大な土地は、日
本の国土の2割を占め、九州
よりも広く、香川県なら44個、
琵琶湖なら約1300個、東京
ドームなら約180万個入り
ます。冬の寒さが厳しい環境
かつての開拓の努力により、
農作物や海産物等が豊富に採
れるようになっています。
今では北海道の食料自給率は200%を超え、
現在、陸上自衛隊北部方面隊が2つの師団、
2つの旅団をもって、その守りを固めています。
人事交流もあり、北海道で勤務経験のある隊員
も少なくありません。それでもまだ、北海道生
活の実態はあまり知られて
いないようなので、更なる
情報発信が必要に思えます。
キャプテン・ジョシユア
は、2年間の勤務を終え、
第3師団を去ることとなり
ました。在任間は大変お世
話になりました。

赴任先は再び北海道です。



「関西と北海道」
著：キャプテン・ジョシユア



職場の知識

第3師団ホームページでは、過去の3師団だよりや、
開催予定イベントの紹介などを逐次更新しています！
また、各種SNSにおいて、訓練や部隊の活動を紹介
しています。ぜひ一度ご覧ください♪

3師団SNS【QRコード】



ホームぺージ



X
(旧Twitter)



Instagram



Facebook